

風の子



松山市立窪田小学校

R 7.12.25 No.8

<https://kubota-e.esnet.ed.jp/>

しんどいことは嫌なことではない

校長 大倉 匡仁

窪田っ子のすばらしさを語るエピソードは、この通信でもよくお伝えしていますが、毎日数えきれないほど私の目や耳に入ってきます。行事があると各段に欠席が少なくなるのもその一つ。「なんだ、楽しいことだと来るのか」と思われるかもしれません、遠足や社会見学だけでなく、日頃の学力の定着度を測る県学力診断調査や校内マラソン大会でもそうなのです。

中学の頃バスケットボールをしていて、逃げ足?と持久走だけ速かった私ですが、駅伝大会の選手に選ばれ、多くの3年生が部活を引退した後も、運動場でひたすら走らされていました。まだ指導が厳しかった時代で、自分の限界を超えては倒れ込み、喉はからから、吐きたくても吐けないつばは血の味がして…今でも箱根駅伝やマラソン中継は、見るだけでもしんどくて嫌です。

多くの窪田っ子たちはマラソン大会を心待ちにし、体育の時間や業間マラソンで練習を重ね、高鳴る胸を抑えながら当日元気に登校してきます。学校においては、子供たち一人一人が自分で決めた目標(目標には順位だけでなく、昨年や練習タイムの記録更新といった克己の大切さなども含まれています。)が達成できるようにと、先生たちが温かく声を掛け、意欲を喚起しています。また、周りからの大きな声援を受け、自分も全力で応援し、友達の喜びを自分のことのように感じられる子が増えています。さらに、「夕方、おうちの人と家の周りで走る練習をしたんよ」などと話してくれる子がいるのは、きっとどの御家庭でも様々に励ましていくべき、一生懸命取り組むことのすばらしさを話してくださっているからでしょう。持久走や学力調査を嫌なこと楽しくないことと決めてしまっているのは、ひょっとしたら乏しい経験しかしていない私だけなのかもしれません。

「これから日本の教育は、自ら進んで未来を切り拓こうとする子供たちを育成しなくてはならない」と言われて久しいのですが、皆様のお力添えで、この窪田小学校では、どのようなことにも楽しく主体的にしっかり取り組めるよい子が育っていることに、感謝の気持ちでいっぱいです。

連合音楽会

5年部 高野 奈美

11月6日(木)、5年生は市民会館大ホールで開催された、連合音楽会に参加しました。この日のために、9月から音楽室や体育館等で練習を積み重ねてきました。出番は5番目。大きなステージを目の前に、少し緊張していましたが、出番になると練習の成果を十分發揮し、合唱「生命が羽ばたくとき」と合奏「青と夏」の2曲を堂々と披露することができました。「楽しく演奏ができた!」「今までの中で一番上手にできた!」と満足そうに話す姿が見られ、5年生の絆も一段と深まる充実した1日となりました。



生活科「どきどきわくわく町たんけん」

2年部 西森 仁美

2年生は、生活科の学習で「町たんけん」に行きました。5人程度のグループを組み、地域の施設やお店などを訪問し、見学やインタビューをさせていただきました。探検先では、人々が一生懸命に働く姿や、バックヤードなどの普段は見ることはできない場所を見学させていただき、子供たちは、新しい発見をしたり秘密をたくさん見付けたりしていました。そして、分かったことや「町のすてき」をタブレット端末でまとめ、友達に伝えることができました。



町探検に快く協力してくださった地域の方々、保護者ボランティアの皆様のおかげで、充実した活動となりました。ありがとうございました。

校内マラソン大会・風の子体力つくり

体育主任 高村 和希

12月3日(水)、校内マラソン大会が開催され、子供たちは自分の目標に向かって力いっぱい走り抜きました。11月から業間マラソンがスタートし、約1か月の練習期間を経て、大会当日を迎えました。本番では友達同士で励まし合いながら、「前より速くなった!」「最後まで歩かずに走れたよ」などと、達成感あふれる声があちらこちらから聞こえてきました。温かい雰囲気に包まれた中で、最後の一歩まで自分の力を出し切る姿はとても頼もしく感じました。保護者の皆様からの大きな声援と温かい御支援をいただき、子供たちの大きな励みとなりました。ありがとうございました。



縦割りチャレンジランキング

特別活動主任 高野 奈美

12月16日(火)、縦割り班の友達と一緒にゲームやクイズに挑戦する、「縦割りチャレンジランキング」が開催されました。この日に向けて、運営委員と集会委員の有志が協力してゲームの準備を進めてきました。今年は、「片足バランスチャレンジ」「さいころゾロ目チャレンジ」「的入れチャレンジ」「風船ラリーチャレンジ」「ボール運びチャレンジ」の5つのゲームがありました。各ゲーム場所では、「この並び順はどうかな?」「2点を狙って投げよう!」など、順番や作戦等を話し合いながら、協力する姿が見られました。ゲームだけではなく、「風の子クイズ」やボーナスチャレンジの「先生クイズ」を通して、窪田小のことをもっと知ることができる良い機会となったようです。6年生が中心となって、班のみんなをまとめようと頑張る姿や、学年問わず笑顔で声を掛け合って楽しむ姿がたくさん見られた、すばらしい異年齢活動となりました。これからも、縦割り班の友達と楽しく活動できるといいですね。



冬休みの過ごし方

生徒指導主事 高村 和希

令和7年もいよいよ締めくくりの時期となりました。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より窪田っ子の健やかな成長のために温かい御支援・御協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

楽しい冬休み。子供たちは新しい年を迎える喜びや期待を胸に、思い思いに時間を過ごすことでしょう。そのような中でも、家族や地域などの人との関わりを大切にしながら、様々なことに挑戦できるよう、御家庭での励ましをお願いします。また、3学期を気持ちよくスタートできるよう、安全に気を付けた規則正しい生活に心掛けてほしいと思います。特に「インターネットにつながる機器」の使用については、トラブルを防ぐためにも、改めて御家庭でルールを確認し合う時間をお取りいただくようお願いします。詳細につきましては、別紙「冬休みのくらし」をご覧ください。

《編集後記》

今年も残りわずかとなり、校庭の木々も落葉してすっかり冬の装いとなっています。来年愛媛県で開催される全国植樹祭の記念行事として、先日、南側の校庭にクヌギの木を植える植樹式を行いました。これらの活動を通じ、子供たちにも緑を大切にする気持ちが育ってほしいと願っています。1年生の生活科では、クヌギのどんぐりが大人気でした。この木がたくさん実をつけ、未来の窪田っ子の笑顔につながっていくことを楽しみにしています。(中越)



窪田小
ホームページ